

# 札幌芸術の森美術館 展覧会カレンダー 2024-25

タイトル、会期、内容などが変更になる場合がございます。ご了承ください。

## 特別展

### 遠藤彰子展 生生流転

2024 4月6日(土)～6月16日(日)

最大で幅 7.5メートルにも及ぶキャンバスに「人間の存在」を濃密に描き、観る者の魂を激しく揺さぶる画家・遠藤彰子(1947-)の展覧会。童画的な要素を取り入れた初期の「楽園」シリーズから、安井賞を受賞するなど飛躍する契機となった「街」シリーズ、そして深い物語性を内包した大型作品群の3部で構成。出品点数は挿画や立体作品も含めて75点。



《ことば響くあたり》2019年 油彩、キャンバス

## B展

所藏品企画展

八木伸子  
一女流画家協会の  
画家一



八木伸子《バラ色のテーブル》1986年 油彩、キャンバス

2024

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2025

1月

2月

3月

野外美術館

4月27日～11月4日

### 水木しげるの妖怪 百鬼夜行展

～お化けたちはこうして生まれた～

6月29日(土)～8月25日(日)

妖怪漫画や妖怪画などを手がけた水木しげる(1922-2015)。本展では、創作の裏側にも着目し、貴重な本人所蔵の妖怪関連資料や漫画作品の原稿などを公開し、先人たちの築いてきた妖怪世界をリスペクトしつつさらに豊かなものに発展させた仕事に迫る。



《一反木綿》©水木プロダクション

内藤コレクション

### 西洋の写本—いとも優雅なる中世の小宇宙

9月7日(土)～9月29日(日)

筑波大学教授として医学に携わりながら、中世ヨーロッパの彩飾写本の収集に腐心した内藤裕史氏のコレクションを紹介。人々の信仰を支え、知の伝達を担う写本に施された華やかな彩飾を詳細な解説を添えて紹介する。



サン・マッテオ国立美術館のミサ聖歌集Vの画家《聖務日課聖歌集聖歌》1330-40年頃 国立西洋美術館蔵(内藤コレクション)

所藏品企画展

艾沢祥子

Happy Re-birthday to  
Fukushima+Sapporo



フィロス・コレクション

### ロートレック展

時をつかむ線

10月12日(土)～2025 1月5日(日)

アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック(1864-1901)のグラフィック作品の個人コレクションとしては最大級のフィロス・コレクションより素描、版画、ポスター、雑誌、書籍、さらにロートレックの交流関係をうかがわせる書簡、写真なども含めて約230点を紹介。19世紀末のモンマルトルに生きた歌手や芸人たちの息づかい、カフェやキャバレーの熱気をロートレックの作品を通じて伝える。



《ディヴァン・ジャポネ》1893年 リトグラフ  
Courtesy "The Firos Collection"

所藏品企画展

砂澤ピッキ  
アーカイフ  
経過報告



《午前3時の玩具》1987年

札幌美術展

### マイ・ホーム(仮)

2025 1月18日(土)～3月9日(日)

ひとつのテーマに即して複数名の実験家を紹介してきた「札幌美術展」の11回目(作家単独展を含めると第17回)。今回は「ホーム」を切り口に、自分の居場所や生活、心の拠り所について改めて気づきを得るような、北海道・札幌ゆかりの多彩なジャンルの実験家を8人ほど選出し、紹介する。



米坂ヒデノリ《母と子》1964年、木

所藏品企画展

本郷新の言説



《無辜の民 乾いた砂》1970年

野外美術館  
かんじきウォーク開催期間